



西岡恵子 議員

教育

社会情勢の目まぐるしい変化に伴い、子供達を取り巻く環境も大きく様変わりしてきている。3年前の大

阪教育大附属小学校の不幸な事件をきっかけに本町でも学校の門扉設置、防犯ベルの導入など子供達への安全対策には力を注がれているが、その他学内・外ではどのような指導がされているか。「子供110番の家」「千の瞳大作戦」と各学校それぞれ安全対策に取り組んでいるようだが、全町の対策はいかがか。



防犯重点パトロール

しい事件が起こった。多感な子供達の心理状況が浮き彫りになっていく中、インターネット上でチャットでのやりとりも起因しているのではないかと言われている。

命の大切さを認識させる指導に努める

防犯ブザーの配布や防犯重点パトロールの実施など、子供達の安

ら。これからの情報化社会の中、教育現場においてもパソコンの教育は必要であるが、便利さの陰のマイナス要因の指導、ソフト面・内面の指導が尚一層大切と考える。今後の取り組みについて尋ねる。

IT指導についてはパソコンの操作、ネット上のルールの遵守、プライバシーの尊重など指導の徹底を行っている。

環境

下水道事業と合併浄化槽設置の費用対効果については同様の質問を3月議会でもしたが、検討結果は6月頃との答弁であった。この事業は町財政圧迫が予想される大きな事業と考える。本事業の見直しも含み、充分検討を。

効率的な汚水処理に努める

汚水適正処理構想の見直しの基礎データや経済比較などのデータを十分精査をして、効率的な汚水処理

が出来るよう、汚水処理構想を作成していく。

行財政改革

行財政改革の実施計画推進にあたり8ヶ所の住民説明会での町民より頂いた貴重な意見・提言に対し今後の取り組みをどうするか。取り組み可能な意見・提言は検討し取り入れていく、これこそが町長が言われる住民参加型町政といえると思う。また、集約した意見・提言の開示も大切と考えるが、今後の対応を尋ねる。行財政改革推進にあたり町民委員会にも検討いただいているが、この会の委員に一般公募の方を加えていただきたい。町民委員会の開催においては現在非公開であるが、傍聴の形がとれないか検討を願う。

具体的推進にあたり町民に対しては今後、手数料、使用料の値上げをし、応分の負担を課する中、滞納者

に対して公平・公正さを欠くことなく、厳正な取り組みを。

借地、町有地について有効活用されているのか整理をし、早急な見直しを求め

粘り強い姿勢で徴収する

情報の開示は大事なことであり、今後、住民に情報を公開しながら理解、支援を頂きたい。住民説明会の結果についても広報などで内容報告をしたい。

未収金対策については、課員全員での夜間徴収により反応と成果があった。悪質な家賃滞納者には訴訟など強い方針で臨んでいく。

利用頻度の低い借地は契約期間などの問題もあるが、調査結果を踏まえて返却も含み方針を検討していく。